



博物館チャレンジカード 1

小学校 年 組 名前

このカードの使い方

- このカードは歴史れきしの学習について調べるものです。(「入間の歴史」展示室)
- 展示を見たり、説明を読んだりして気づいたことや考えたことを書きましょう。
- わからないことがあったら博物館の人や先生にたずねましょう。
- えんぴつだけを用意しましょう。

1 原始の展示コーナーには石で作った下の写真のような道具が展示されています。

道具 の 写 真			
石 の 道 具	【おの】 	【おもり】 	【ゆみや】
説 明	○木を切る道具 ○打製石斧 <small>だせいせきふ</small> という	○魚をとる網 <small>あみ</small> におもりとし て付ける	○矢の先につける ○石鏃 <small>せきぞく</small> という

気づいたこと、考えたこと、絵など

2 石の道具が展示されています。

①石皿(いしざら)
②磨石(すりいし)
木の実をすりつぶし、粉にする

③敲石(たたきいし)
④凹石(くぼみいし)
木の実をたたきつぶす

⑤肉を切る

⑥土をほる

3 縄文時代の人々の暮らしの様子を描いた「縄文時代の暮らし(想像復元図)」が展示されています。



説明

1万3千年前ごろから、気候はしだいに温暖になり、林はトチやシイなどの実をつける落葉広葉樹の森に変わりました。

そして、豊富な木の実などを餌とした動物が増えました。

また、木の実の加工技術や土器の使用により、食べられる物の種類も増えました。

縄文時代の人々は四季の移り変わりにあわせ、狩猟と採集の生活を営んでいました。

気づいたこと、考えたこと、絵など